

平成18年6月15日10時30分発表

国土交通省 大隅河川国道事務所

記者発表資料

「[桜島]有村川で土石流発生」

本日、6月15日5時47分頃、有村川で土石流が発生しました。

土石流の発生原因としては6月4日以降、桜島の火山活動の活発化に伴い、桜島昭和火口（南岳東斜面）からの噴火による降灰が今回の降雨によって、土石流となり流出したものと思われます。この降灰は、桜島に堆積していると推定されますし、昭和火口付近にも、堆積していることが確認されています。

なお、今回発生した流出土砂量については不明です。

今後も降雨により、堆積した降灰が土石流となって溪流を流下するなど再び、土石流の発生する恐れが、十分ありますので島内住民の方々は、溪流に近づかないなど、従前に増して、十分な警戒をお願いします。

*参考：今の有村川の現状については緊急情報提供システム及び県庁内共聴テレビ（17ch）にてリアルタイム画像が確認出来ます。なお、国土交通省大隅河川国道事務所判断により、黒神川の映像に切り替えることがありますのでご了承下さい。

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

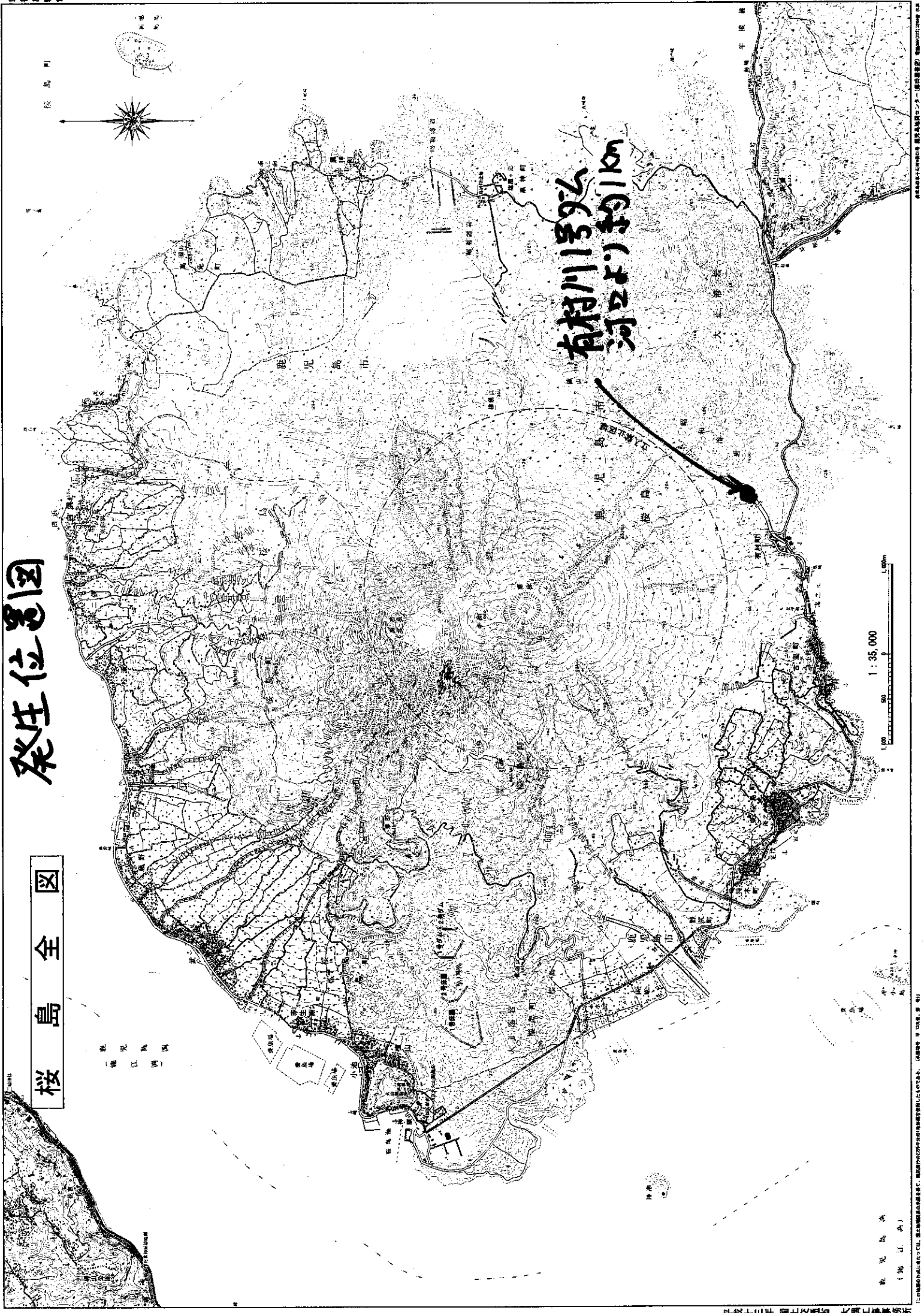
鹿児島県肝属郡肝付町新富1013-1

電話（0994）65-2541

広報室 井之上 秋秀（内線520）

発生位置図

桜島全図



有村川1号ダム
河口より約1km

鹿児島湾
(錦山島)

1 : 35,000